

「これまでの」と「これからの」事業の一部をお知らせします！



① 生活を支える！地域経済を後押しする！

吉川市の子供達（小学生～高校生）へ「バスチケット」



「バラマキ」ではなく、「未来につながる」ように、「みんながつながる」ように、そうした支援を理念としています。

◆バス等の公共交通の維持が全国的に課題になる中、吉川市では、バス会社へ補助金を直接お配りするのではなく、子供達に「バスチケット」を配布する事業を展開しました。◆無料で好きなところまで行ける「子どもバスチケット」。これは、子供達がより吉川市を知り、そして将来のバス利用者となるキッカケにして欲しいとの思いを込めました。◆もちろん、無料バスチケット分の料金は事務費等も含め、バス会社へお支払いするので、まさに「三方よし」。◆加えて、子供達向けに「バス営業所見学会」も実施し、普段見ることが出来ない場所を見ることが出来て、子供達も大喜び。バス会社の方々からも楽しく嬉しい企画だったとの言葉をいただきました。◆「公共交通事業者への支援」や「地域の公共交通の持続性を目指す」中でのひと工夫。◆「吉川市の政策理念」を表す一つの事例となった事業でした。

同様の理念の下、様々な支援事業を展開しています。

【生活困窮世帯への支援】
○国が予算化した「住民税非課税世帯」と「ひとり親世帯」への現金給付に加え、
○吉川市独自政策として市内のお店で使える「2万円商品券」を「住民税均等割のみ課税世帯」へ支給。
○経済的困難にある「小・中学生の準要保護世帯」へ、「教育費負担軽減として子供一人当たり2万円」を給付。

【子育て世帯への支援】
○物価高騰への支援として、子育て世帯への単なる現金給付ではなく、子供達（18歳まで）が社会状況や地域経済、市内店舗を知り、自らの意思で使用できる吉川市独自の「子ども未来応援商品券」を給付。（約5000万円）
○学校給食の食材費が高騰している中、保護者負担額を増やさずに、不足分を市が負担。（約3000万円）

【市内産業への支援】
○「コロナ禍での市内産業支援」として、これまでに計11事業、総額約4億円の支援策を実施。
○今回は、「燃料やエネルギー価格の長引く高騰への支援」として、市内の中小企業や農業者が活用しやすい支援金制度を構築。（約5000万円）

② 様々な世代の皆さんと意見交換を！



子供達との「市長キャラバン」

◆吉川市の公園は、整備から30年程が経過したものが多く、遊具やベンチ等の劣化が一気に進んでいました。そこで、市長就任後すぐに「公園再生プロジェクト」を立ち上げ、公園の再整備に力を入れてきました。再整備の内容は、関公園や保第3公園のような大規模改修から、永田公園や中曽根公園のような健康遊具設置など、大小様々ですが、いずれにしても劣化した遊具やベンチ等は早急に撤去しており、その後順次、既存の公園の充実を図っています。◆そうした中、先日、障害の有無などを越えて、みんなが一緒に楽しく遊べるように、遊具や園内に様々な工夫を加えた公園である「インクルーシブ公園」をつくろうというテーマで、「子供達との市長キャラバン」を開催し、障害のある子も無い子も一緒に先進地の公園を視察し、意見交換を行いました。



◆また別の日には、「三輪野江地区にはじめて出来る公園と一緒に考えよう！」というテーマでの「市長キャラバン」も開催。「敷地内の木々を活かし、自然を感じる中で、地域の子供達が遊べる場を」という地権者の方のご厚意の下、元埼玉県知事の大沢雄一邸跡地を地域の子供達と一緒に視察し、意見交換を行いました。◆それぞれの「市長キャラバン」では、実際に現場を体験してみて分かったことや、子供ならではの意見が多くあり、とても有意義なものとなりました。◆今後、そうした意見を踏まえて、「インクルーシブ公園」「三輪野江地区公園」を整備してゆきます。楽しみにしててください！（^^）



子供達との「市長キャラバン」みんな真剣！



【高齢の方々と共に！】

○スマホ教室の開催 / ウォーキングイベントの開催 / 高齢男性に向けた「運動&料理教室」の開催 / 水中ウォーキング教室の開催 / 脳活ドリル第2弾発行 / 老人センター「パレット」での様々な催し…etc.

☆様々な取り組みを行っています！ぜひ、お問い合わせください！

☎長寿支援課 048-982-5118
☎パレット 048-982-7717



脳活ドリル

【障害のある方々と共に！】

○障害者就労支援→市内13社による「合同就職面接会」を開催！
○障害者グループホーム→H26年には1施設（定員5名）だったのが現在は14施設、定員76名に！
○障害者アート展→R5年も開催！素晴らしい46作品が！
○吉川市演劇プロジェクト→R5年も皆さんからの寄付金のみで実現！子供から高齢者、そして障害のある方から外国籍市民まで、まさに多様性の舞台に！



演劇プロジェクト舞台公演「ばかされ〜異聞吉川譚〜」

【若者と共に！】

○「よしかわ若者会議」「一日市長」「ランチミーティング」「どこでも市長」などを通じて、多くの若者の意見を「まちづくり」に活かしています！！

③ 学習環境をしっかりと整える！

「体育館のエアコン整備」

数億～10数億円かかる学校の施設整備。優先順位を決め、予算の計画をたて、着実に進めています。

◆市長に就任以降、まずは毎日使うトイレの整備を最優先とし、東中学校・旭小学校・栄小学校から整備開始（3校で約11億円）。その後、順次他の学校のトイレ洋式化も進めました。◆また「体育館や教室などのLED化」「Wi-Fi整備」を進めながら、「1人一台のタブレット導入」、そして「教室へのエアコン設置（約10億円）」までを実現。◆そしていよいよ今年度から、「小中学校の体育館と総合体育館へのエアコン整備」に！現在、詳細設計を行っており、順次、設置工事に入ってゆきます！もう少しお待ちください（^^）

◆選挙が近くなると、「給食費を無償に！」と言い出す政治家が多いですが（苦笑）、吉川市の給食事業費は年間約8億円。そのうち約5億円を市が負担しており、残り約3億円をご家庭から給食費をいただき賄っています。もちろん、生活困窮世帯等には免除や補助があります。国のお金で全国一律で「給食費無償化」を行うなら良いのですが、8億円全て市の税金を使っての「給食費無償化」を進めることは、左記のような学習環境の整備の遅れにもつながると私は考えます。



④ インフラ整備が進んでいます！

○旭・三輪野江地区の生活道路の整備をさらに進める！→これまでの「年間の整備数」にプラスし、「自治会からの要望」による整備を、来年から実現出来るように自治連合会と調整中！
○吉川駅北口のロータリーを再整備→現在、詳細設計中！来年から工事スタート予定！
○吉川美南駅東口の開発→駅前通りが開通！駅前の商業エリアの公募もスタート。来年頭には進出企業決定！
○三郷スマートICのフル化→吉川市側の道路整備中！R6年度開通予定！
○農業パーク&道の駅→基本構想完成！現在、地権者の方々とお話をさせていただいています！
○吉川橋からの4車線→R6年度に開通予定！
○旧庁舎跡地を活用した「福祉の拠点」整備→学識者や市民からなる「検討委員会」がスタート。いよいよ計画策定の最終段階へ！



旭・三輪野江地区の「生活道路の整備」を加速！



開通した「吉川美南駅東口」の駅前通り

中原恵人プロフィール

1970年5月22日/3たご座/0型/家族・妻、二男一女・デイズ（愛犬）
開成高校卒業/筑波大学卒業 / 不登校・ひきこもり支援 NPO 法人理事長
2011年4月より 埼玉県議会議員/2015年3月より 吉川市長 現在に至る

スポーツ 野球 / フットサル / 格闘技



バイク 天気の良い日にツーリング



創作 バンド活動



絵画



執筆



仮面ライダー響鬼 大好き・笑



日々、様々な情報発信をしています！ぜひ、お読みください！



ブログ



Instagram



facebook